

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○	

## 企業の概要

社名	株式会社Phone Appli	都道府県	東京都
業種	情報通信業	従業員数	正社員107人
事業概要	アプリケーション開発・販売		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク(在宅勤務)規程
テレワーク担当部署	ピープルエンゲージメント部&総務部
テレワーク対象者	全正社員
実施者数	75人(社員の約7割)
実施日数	おおむね週1~2回

## テレワークの導入・拡大の経緯

「生産性の高い働き方改革を！」をモットーに掲げ、自社で実践した働き方をお客様にすすめるため、テレワークを率先して行うこととなった。育児や個人の体調管理の都合により、柔軟な働き方を提供することが社員の満足度向上につながり、また成果を主軸とした組織改革の1つとして場所の概念を変えたかったため。

## テレワークの概要・特徴

- ・基本的に前日までに上長にテレワーク申請を連絡し、実施(ただし悪天候時の場合などは自己判断でテレワークを推奨し、通勤の負担を減らすことができる)
- ・「週●回まで」のような在宅勤務日の制限はない
- ・男性社員もテレワークで育児に参加
- ・クラウド型勤怠管理システムによる勤怠打刻(スマホからも打刻可、在宅・営業や技術の客先も含む)
- ・ビジネスチャットやWeb会議にて業務報告やミーティング、相談など
- ・日報(工数)を勤怠管理システムにて入力(クラウド型工数実績システムに入力)
- ・育児中の在宅勤務に関しては、時間を柔軟にカウントする運用を実施している。(基本的に社員を信頼し、厳密な業務の監視はしておりません)
- ・時間軸ではなく成果軸で判断する方向にシフトをしている。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 社員満足度の向上
  - ・毎年変化する社員のニーズやライフステージにあわせて運用方法を変化させるなど、いろいろな社員に対応できるよう常に改善しており、社員の満足度はアップしている。
- 離職者の減少
  - テレワーク導入により、離職率が5%未満となった。
- 介護/育児参加
  - ・男性社員がテレワークを利用し、積極的な育児参加ができるようになった
  - ・家族が入院している女性が、病院からテレワークを行うことでWLBが両立出来た
- 残業時間の削減
  - ・在宅勤務を日常的に活用している社員の月の平均労働時間が10時間以上減った。
- 通勤時間の削減
  - ・悪天候時の場合などはテレワークを推奨し、通勤の負担を減らすことができる。
  - ・会社から言われての在宅でなく、自発的にスケジュールを決めることや、天候や交通機関、健康状態などで自ら判断して在宅勤務を実施している。
- 人材確保
  - ・面接の際にテレワーク制度を説明したところ、中途採用及び新卒に好感感を得ることが出来、採用比率が従前より10%以上アップした。